

# モラルサイエンス研究会 発表要旨

企画：モラルサイエンス研究推進プロジェクト

令和4年12月7日（水）、モラルサイエンス研究推進プロジェクトによる第3回モラルサイエンス研究会（共通テーマ「組織の多様性の落とし穴」）をオンラインにて開催しました。

第一報告者である横田理宇 研究員（麗澤大学経済学部准教授）からは、「経営陣の多様性と組織成果：上層部理論の再探訪」をテーマに、経営陣の多様性がもたらす多様な視点獲得が、組織に正の影響を及ぼすメカニズムと、そのような効果を低減させる調整要因について報告がありました。

第二報告者である内藤知加恵 麗澤大学国際学部助教からは、「働き方の違いによる組織の分断をどう乗り越えるか：「フォールトライン」の視点から」をテーマに、多様性が職場の分断に繋がり負の影響を及ぼすメカニズムや、働き方をきっかけとしたトリガーについて報告がありました。

司会・コメンテーターを大塚祐一 客員研究員（就実大学経営学部講師）が担当し、参加者も交えて活発な意見交換が行われました。

（文責：モラルサイエンス研究推進プロジェクト・コーディネーター 横田理宇）